

事業名	公衆浴場対策費		
細事業名	公衆浴場業生活衛生同業組合振興事業費	財務コード	088104
担当部課室	福祉保健 部 衛生業務 課 生活衛生 担当 (内線)	3465	

調書番号	40
------	----

I 事業の概要

実施期間	始期 S63 年度 ~ 終期 年度
実施主体	補助(山梨県公衆浴場業生活衛生同業組合)
目的	だれ(何)を対象に 銭湯経営者(山梨県公衆浴場法施行条例第2条第1項の一般浴場であって物価統制令第4条の統制額の指定を受ける浴場経営者)
	その対象をどのような状態にして 県民の銭湯利用の機会を提供している
	結果、何に結びつけるのか 銭湯の経営の安定、存続
内容	山梨県公衆浴場業生活衛生同業組合が行う、振興事業の経費に対して補助金を交付する。 〔振興事業の概要〕 各種イベントの開催(菖蒲湯、ゆず湯の一斉実施等)、普及啓発事業(銭湯マップ作成・配布等)、情報の収集伝達(全浴連新聞の一括購入・配布等)、研修事業(全浴連研修会への参加等)、その他振興事業(浴槽水の一斉水質検査) 〔補助対象経費〕 報償費、需用費、役員費、賃金、旅費、委託料、使用料及び賃借料、その他知事が特に必要と認める経費 〔補助対象額〕 補助対象経費の2分の1で予算の範囲内(H25年度予算額及び確定額:400千円)

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
活動指標	補助金の交付額	目標	400	400	400	400	400	400
		実績(見込)	400	400	400	400	400	400
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		達成区分	b	b	b	b	b	b
成果指標		目標						
		実績(見込)						
		達成率						
		達成区分						
決算(予算) 単位: 千円		400	400	400	400	400	400	400

III 事業の評価(平成28年度の業績評価)

活動指標	b	評価	組合が行う振興事業に係る経費の1/2を補助
成果指標			本事業は、既存の銭湯の存続、確保に貢献しており、意図した成果を上げている。平成28年度の公衆浴場業の廃業はなかった。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

判断	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い	
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()		
有効性(成果向上)	判断	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない		
	説明	組合の実施する振興事業の中の、各種イベントや普及啓発方法の内容を工夫することで成果向上の可能性はある。		
見直しの余地	判断	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない		
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 (プロセスの改善)		
その他	説明			
見直しの必要性	有	基本的に現状維持であるが、さらに効果的な事業が実施されるよう、引き続き進捗状況等の中間確認を行うことで振興事業における補助金のより有効な活用を図っていく。		

V 見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	事業の予算額については、現行どおりとし、事業のプロセスについては、さらに効果的な事業が実施されるよう事前確認や進捗状況等の中間確認を行うことで振興事業における補助金のより有効な活用を図っていく。
----------	----	---

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。